

# 日光地区協議会だより

## ○津田かぶと二十日大根の出荷をしました

(平成23年12月発行)

松江市の漬物業者「土江本店」へ津田かぶと紅白二十日大根を10月から12月にかけて出荷しました。この取り組みは、土江本店の大山の清らかな水で栽培した農作物を漬物にしたいとの思いから栽培に至ったもので、日光地区の農家7戸に協力をいただきました。

初めて栽培する品種でしたが良いものが収穫でき、東亜青果を経由した出荷量は、津田かぶは、葉付きのものを約3,000本、スライス用が165kg、紅白二十日大根が61kgでした。

来年も引き続き、津田かぶと紅白二十日大根の栽培に取り組みたいと思いますので、興味のある方や栽培を検討される方は事務局までお知らせください。



[津田かぶ]



[紅白二十日大根]

9月6日(火)に、日光地区11名と二部地区10名が参加し現地視察研修会を開催しました。初めて津田かぶを栽培する農家が多く、あらかじめ栽培方法の勉強をしようと計画したものです。

島根県揖屋干拓地で津田かぶの栽培方法等の勉強をした後、土江本店の漬物工場の見学をしました。津田かぶを勾玉の形にカットすることや農薬の使用方法についての質問が交わされました。



[津田かぶ: 勾玉の形に注目]



[土江本店: 漬物工場]



土江本店社長の関谷です。日光の皆さん、津田かぶ栽培をお願いします。

## ○義方公民館まつり出店

11月6日(日)に、義方公民館祭にお邪魔し、こしひかりの新米を始めとした農産物の直売、おにぎりや大鍋汁の販売を行ないました。大雨の中でテント張りをし、来場者があるのか不安でしたが、開会時には小降りとなり開店と同時に品物を買求めるお客さんが詰めかけました。

テントの中では大鍋汁の調理を始め、また、調理室では日光女性会によるおにぎりづくりで大忙し…。出来たと同時に店先に並べると、こちらも次々とお客さんの手へ…。農産物・おにぎり・大鍋汁とも完売でした。

今年で3年目の出店で定着してきたのか、「今年も出かけてくれてありがとう」などの声をかけていただき、とても嬉しく交流の輪が深められたと感じました。



[農産物販売]



[大鍋汁・おにぎり]



[会場の様子]



[たこ焼きやポン菓子の出店もありました]



## ○ゴズ釣り交流会

10月9日(日)に米子市湊山公園の中海で、ゴズ釣り大会を開催しました。この事業は義方公民館との交流イベントの一環として、「大人の交流だけでなく、子供たちの交流をしたらどうか」との思いから岸本小学校の原田教頭先生(義方校区在住)のご尽力で実施に漕ぎつけたものです。

翌10日に伯耆町駅伝大会が控えており、子供たちの参加があるのか不安でしたが、日光小学校の児童8名と保護者等の計12名で出かけました。義方校区の児童・保護者等(33名)の出迎えを受け、班分けの後にいよいよゴズ釣りに挑戦しました。

最初はなかなか釣れず悪戦苦闘をしていましたが、しばらくするとコツをつかんだのか、次々とゴズを釣り上げ大満足。昼食はおにぎりとキスのから揚げをご馳走になりました。

釣果は第1位 木村美紀さん27匹、第2位 假谷智志さん・本田萌果さん各25匹でした。筆者も途中からゴズ釣りに参加し、短時間でしたが5匹を釣ることができました。

来年も計画したいと思いますので、日光小学校の児童・保護者の皆様、是非ご参加ください。



## ○地域ふれあいフェスタ出店

11月20日(日)に、中海テレビ放送センタービル(旧NHK米子支局)で「地域ふれあいフェスタ」が開催されました。このイベントは鳥取県西部広域交流ネットワークのテゴネットが手掛けるもので、当日を「伯耆町の日」と題して伯耆町産の農産物や特産品を即売するものです。

黒ぼくりゾート大山高原協議会からの誘いを受けて、軽トラックに日光産の大根・白ねぎ・白菜・キャベツ・里芋を山積みして会場に出掛けました。天候が優れず客足も少なかったため売れるのか心配でしたが、「ほうけトラ」の幟旗等でデコレーションした軽トラの周りに次々と客足が止まり、午後2時までの僅か4時間の間にほぼ完売となりました。

上代のどぶろくや父原ポン菓子工房の出来立てのポン菓子、飲食コーナーでは大山バーガーや大山おこわ等の販売もあり、展示コーナーでは日光地区をPRするため地区協議会の活動写真を掲示しました。

本来ならば、生産者と購入者が顔を合わせて販売するのが良いのですが、日光小学校の学習発表会と重なってしまったため事務局のみの参加となりました。次回は生産者を連れて出かけたと思います。



[ 屋外販売:軽トラ市 ]



[ 屋内展示:地区協議会の活動写真展 ]

## ○伯耆町地区別懇談会日光地区懇談会



10月13日(木)午後7時から、日光公民館で、伯耆町地区別懇談会が開催されました。当日は、区長さんを始め地区協議会役員等23名の参加があり、積極的な意見が交わされました。

最初に町長より、「町政の現状と課題」と題した町の重点事業の説明があり、その後、フリートークでの意見交換会が催されました。

LED街灯の整備や、農業関係など多くの意見が出てきました。また、台風12号の被害で町の防災計画を練り直す必要があり、特に日光地区では土砂災害の場合を想定した対策が必要とのことでした。

平成23年は、年末年始の記録的豪雪・東日本大震災・台風被害など、自然の脅威を実感するとともに、人々の「絆」の大切さを痛感する1年でした。日光地区協議会も住民の「絆」となれるように努力しますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。